

工 事 番 号	部 長	課 長	課 長 補 佐	係 長	検 算 者	設 計 者	
設計年度	令和 3 年度		三原東処理分区污水管新設工事（3-6工区）		仕様書		
施工月日	令和	年	月	日	公共下水道事業		
施工方法	請 負		三原市中之町二丁目		仕 様 書		
工事期間							
工 事 概 要				起 工 理 由			
<ul style="list-style-type: none"> • 路線延長（污水補助） L=169.5m 管体延長 管渠工（開削） φ200 L=157.3m • 路線延長（污水単独） L=6.0m 管体延長 管渠工（開削） φ200 L=5.2m 							

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市中之町二丁目 公共下水道事業 三原東処理分区污水管新設工事(3-6 工区)に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書 令和3年8月 広島版
広島県の調達情報のページ (<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>) - 「技術管理基準等」に掲載している。
 - ・下水道土木工事必携(案) 2021年度 公益社団法人日本下水道協会
 - ・下水道用設計指針と設計標準図 平成26年度改訂版 三原市
 - ・その他関連規格類

第2節 現場の管理

受注者は、工事現場内において、管理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。

第3節 部分引渡し

建設工事契約約款第38条により、本工事の内、部分引渡しの必要が生じた場合は、当該部分の検査を受け部分引渡しを行うこと。

第4節 検査

土木工事共通仕様書(令和3年8月広島版)『第3編 1-1-8 技術検査』によるほか、三原市工事検査規程の定めるところによる。

第5節 情報共有システム(設計金額500万円以上が対象)

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報交換システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」(以下「ガイドライン」という。)に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。

広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者(以下「サービス提供者」という。)との契約は、受注者が行い、利用

料を支払うものとする。

- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第6節 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第2章 施工条件

第1節 工程

1 地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査

調査項目	地下埋設物(水道管、ガス管、雨水管などの埋設物あり)
調査時期	工事施工前に試掘を行うこと。(支障物件が発見された場合は、監督員と協議すること。設計変更の対象とする。)
移設時期	必要に応じて、別途協議するものとする。
提出書類	「試掘結果報告書」として、提出するものとする。また、提出部数については監督員の指示によるものとする。

第2節 用地

- 1 借地 あらかじめ近隣住民に借地する目的、作業内容を充分説明し、同意を得て借地すること。

第3節 公害対策

1 事前・事後調査

調査区分	事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。
調査時期	施工前・施工中・施工後(1ヶ月以内)

調査内容	柱，屋根，壁，基礎，建具等の傾斜，損傷状況
範囲	別途協議による。

第4節 安全対策

1 交通誘導員・保安要員

工事作業期間中の交通誘導員は，開削工事3（人／日）を見込んでいる。

第5節 工事用道路

1 一般道路

搬入経路 特に指定しない。

使用期間 工事施工期間

使用時間 8時30分～17時

工事中・後の処置 随時 清掃， 工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

第6節 建設副産物

1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は，公の関与する埋立地，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また，搬出先として，運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって，正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

なお，工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は，発注者と受注者が協議するものとする。

2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には，保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また，届出事項を変更する場合は事前に変更届を，保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。

ただし，産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第7節 仮設工

湧水等により，見込んでいる仮設工法が適さない場合や適用できない場合は，任意仮設についても設計変更することができる。

ただし，変更しようとする者は，見込んでいる仮設工法が適用できない根拠を文書等に示すとともに，適した仮設工法の仕様や構造計算書等を添付し，監督員と協議すること。

第8節 工事支障物件

1 地下・地上支障物

支障物件名	水道管，ガス管
管理者	三原市水道部，広島ガス(株)
位 置	協議による
移設時期	協議による

第9節 管内テレビカメラ調査

管内テレビカメラ調査については，下水道管路施設の点検・調査マニュアル（案）（平成25年6月社団法人日本下水道協会）を準拠し実施すること。

第10節 その他

1 工事中機資材の仮置き

場 所	指定しない
期 間	指定しない
保管方法	指定しない

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和3年8月広島版）『第1編 1-1-31 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に参加しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。

なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

第5章 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、次のとおりとする。

なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- | | |
|--------------|---|
| (1) 原因調査 | 監督員と協力して行なうものとする。 |
| (2) 補償交渉 | 監督員と協力して処理解決に当るものとする。 |
| (3) 応急処置 | 監督員から応急処置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急処置を講ずるものとする。 |
| (4) 補償費用負担割合 | 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち、請負代金額の100分の1を超える額を負担する。 |

第6章 その他

本工事内及び近接する地域住民、企業等には工事内容等を十分に周知・調整したうえで、苦情やトラブルのないよう施工に努めること。また、特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
補助	管路施設(開削工法)	式	1	レベル1
管きょ工(開削)		式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
管路掘削		式	1	レベル4
管路埋戻		式	1	レベル4
発生土処理		式	1	レベル4
管布設工		式	1	レベル3
硬質塩化ビニル管	φ 200	m	157.3	レベル4
継手類		式	1	レベル4
埋設標識テープ		m	157.3	レベル4
管基礎工		式	1	レベル3
砂基礎	再生砂	m	157.3	レベル4
管路土留工		式	1	レベル3
軽量鋼矢板土留		式	1	レベル4
開削水替工		式	1	レベル3
開削水替		式	1	レベル4
マンホール工		式	1	レベル2

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
組立マンホール工		式	1	レベル3
組立0号マンホール		箇所	11	レベル4
外副管		箇所	1	レベル4
小型マンホール工		式	1	レベル3
小型マンホール(塩化ビニル製)		箇所	8	レベル4
取付管およびます工		式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
管路掘削		式	1	レベル4
管路埋戻		式	1	レベル4
発生土処理		式	1	レベル4
ます設置工		式	1	レベル3
ます(塩化ビニル製)		箇所	8	レベル4
取付管布設工		式	1	レベル3
取付管(硬質塩化ビニル管)		式	1	レベル4
付帯工		式	1	レベル2
舗装撤去工		式	1	レベル3
舗装版切断		m	340	レベル4
舗装版破碎(小規模)		m2	714	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0003

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
殻運搬処理		m3	33	レベル4
舗装復旧工		式	1	レベル3
不陸整正		m2	410	レベル4
下層路盤(車道・路肩部)		m2	152	レベル4
上層路盤(車道・路肩部)		m2	152	レベル4
表層(車道・路肩部)		m2	562	レベル4
舗装仮復旧工		式	1	レベル3
表層(車道・路肩部)		m2	152	レベル4
取付管付帯工		式	1	レベル2
舗装撤去工		式	1	レベル3
舗装版切断		m	19	レベル4
舗装版破碎(小規模)		m2	14	レベル4
殻運搬処理		m3	0.4	レベル4
舗装復旧工		式	1	レベル3
下層路盤(車道・路肩部)		m2	7	レベル4
上層路盤(車道・路肩部)		m2	7	レベル4
舗装仮復旧工		式	1	レベル3
表層(車道・路肩部)		m2	7	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0004

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
単独	管路施設(開削工法)	式	1	レベル1
管きょ工(開削)		式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
管路掘削		式	1	レベル4
管路埋戻		式	1	レベル4
発生土処理		式	1	レベル4
管布設工		式	1	レベル3
硬質塩化ビニル管	φ200	m	5.2	レベル4
継手類		箇所	2	レベル4
埋設標識テープ		m	5.2	レベル4
管基礎工		式	1	レベル3
砂基礎	再生砂	m	1	レベル4
管路土留工		式	1	レベル3
軽量鋼矢板土留		式	1	レベル4
開削水替工		式	1	レベル3
開削水替		式	1	レベル4
マンホール工		式	1	レベル2
組立マンホール工		式	1	レベル3

工事数量総括表

頁0 -0005

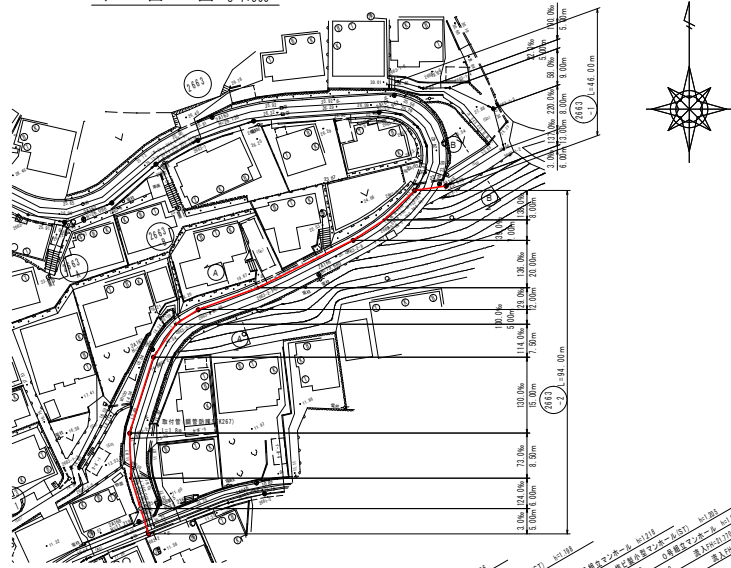
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
組立1号マンホール		箇所	1	レベル4
付帯工		式	1	レベル2
舗装撤去工		式	1	レベル3
舗装版切断		m	12	レベル4
舗装版破碎(小規模)		m2	27	レベル4
殻運搬処理		m3	1	レベル4
舗装復旧工		式	1	レベル3
不陸整正		m2	15	レベル4
下層路盤(車道・路肩部)		m2	6	レベル4
上層路盤(車道・路肩部)		m2	6	レベル4
表層(車道・路肩部)		m2	21	レベル4
舗装仮復旧工		式	1	レベル3
表層(車道・路肩部)		m2	6	レベル4
全工種共通仮設		式	1	レベル1
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		式	1	レベル4
直接工事費				

工事数量総括表

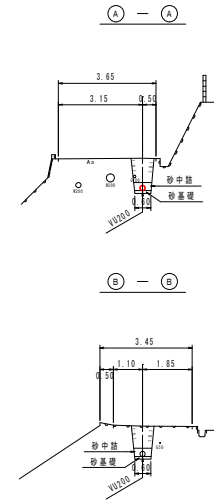
頁0 -0006

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
運搬費				
運搬費		式	1	レベル2
運搬費		式	1	レベル3
仮設材運搬費		式	1	レベル4
技術管理費				
技術管理費		式	1	レベル2
技術管理費		式	1	レベル3
管内調査費		式	1	レベル4
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				
** 工事原価 **				
一般管理費率分				
契約保証費				
一般管理費計				
** 工事価格 **				
** 消費税相当額 **				

平面図 S=1:500



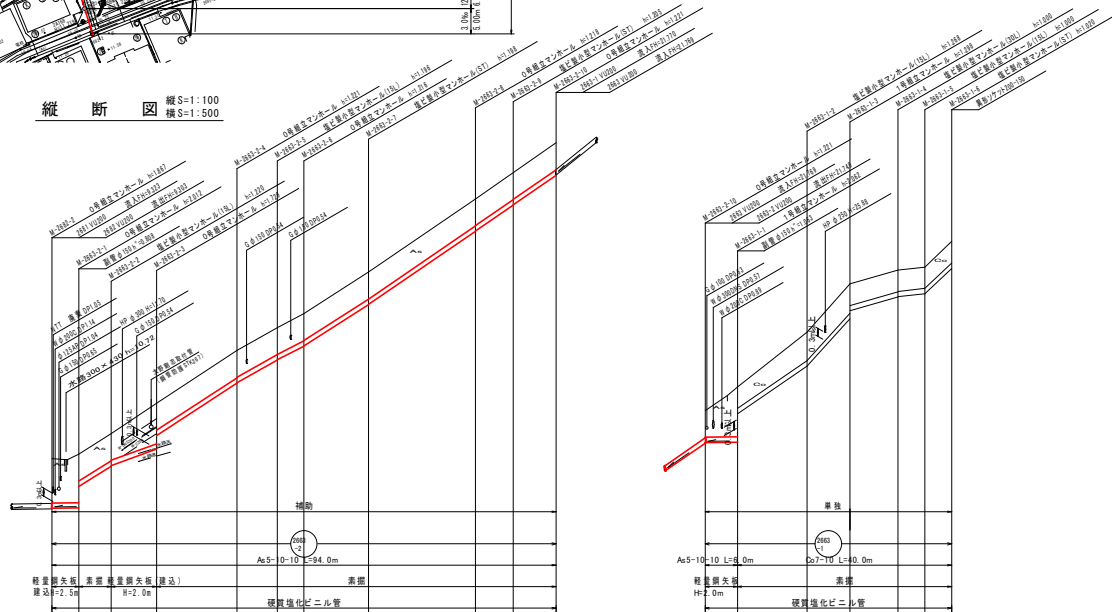
横断面図 S=1:100



凡例

記号	名称
○	3号組立マンホール
○	2号組立マンホール
○	1号組立マンホール
●	0号組立マンホール
●	強じん型マンホール
●	曲管 15°

縦断面図 縦S=1:100 横S=1:500

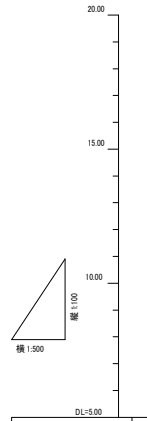


取付管継ぎ防護 S=1:20



数量表

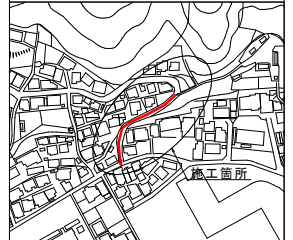
種別	規格	算式	単位	数量
鋼管継ぎ	STK267.4	1.00	m	1.00
マンホール先頭	1:3 (0.255'2-0.165'2) m/4+1.0	37.4	kg	37.4
			m ³	0.03



管径	DL=15.00										DL=10.00									
	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
勾配%	3.0	2.40	2.30	1.80	1.140	0.800	1.200	1.80	1.80	1.80	3.0	1.710	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
区間距離	5.00	6.00	8.50	15.00	7.50	12.00	12.00	20.00	7.00	8.00	6.00	13.00	8.00	8.00	5.00	5.00				
地盤高	11.17	11.15	11.34	13.24	11.21	11.21	11.21	11.21	11.21	11.21	11.21	11.21	11.21	11.21	11.21	11.21	11.21	11.21	11.21	11.21
土盛り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
管底高	8.23	8.23	8.23	8.23	8.23	8.23	8.23	8.23	8.23	8.23	8.23	8.23	8.23	8.23	8.23	8.23	8.23	8.23	8.23	8.23
掘削深	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56
追加距離	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
区間距離	0.00	5.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00

※ マンホール蓋の設計荷重は、T-14とする。

施工位置図 S=1:2500



管番号	マンホール番号	管種・管径	延長	工法
2663-1	M-2663-10	M-2663-10	2.70m	開削 補助
2663-1	M-2663-10	M-2663-10	1.00m	開削 単独
2663-2	M-2663-2	M-2663-2	9.40m	開削 補助
計			14.00m	

令和3年度 公共下水道事業(污水)				
工事名	三原東処理区分汚水管新設工事(3-6工区)			
工事場所	三原市中之町二丁目			
図面番号	縮尺	図示		
平面図・縦横断面図(その19)				
三原市				

— 参 考 資 料 —

令和 3 年度

三原東处理分区污水管新設工事(3-6工区)

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-04. 04. 01(0)	<<凡例>> Co・・・コンクリート As・・・アスファルト DT・・・ダンプトラック BH・・・バックホウ CC・・・クローラクレーン TC・・・トラッククレーン RTC・・・ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 ICT補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	31 下水道工事(2) 02 市街地(DID補正) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
補助 管路施設(開削工法)					Y1I01 レベル1
管きょ工(開削)	1	式			Y1I0101 レベル2
管路土工	1	式			Y1I010101 レベル3
管路掘削	1	式			Y1I01010101 レベル4
機械掘削工(バックホウ)	1	式			SG1D0001002 00
管路埋戻	240	m3			単第0 -0001 表 Y1I01010102 レベル4
機械投入埋戻工(バックホウ)	1	式			SG1D0002003 00
機械投入埋戻工(バックホウ)	160	m3			単第0 -0003 表
機械投入埋戻工(バックホウ)	33	m3			SG1D0002003 00 単第0 -0005 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土処理	1	式			Y1I01010103レベル4
発生土運搬工(4t積級, 2t積級, 機械積込み)	68	m3			SG1E0003002 00 単第0 -0006 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
残土受入費	68	m3			F0003 00 山田建設
管布設工	1	式			Y1I010102 レベル3
硬質塩化ビニル管 φ200	157.3	m			Y1I01010203レベル4
硬質塩化ビニル管布設工 呼び径 200mm	157.3	m			SG1D0006001 00 単第0 -0008 表
継手類	1	式			Y1I01010212レベル4
マンホール用可とう継手 VU φ200	22	組			F0001 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
自在継手 φ200	8	個			F0010 00 下水道単価
埋設標識テープ	157.3	m			Y1I01010216レベル4
埋設標識シート 150×50 2倍	157.3	m			F0002 00
管基礎工	1	式			Y1I010103 レベル3
砂基礎 再生砂	157.3	m			Y1I01010301レベル4
砂基礎工(機械施工)	12	m3			SG1D0019002 00 単第0 -0009 表
再生砂	15	m3			T0249 00 ×1.263
管路土留工	1	式			Y1I010105 レベル3
軽量鋼矢板土留	1	式			Y1I01010503レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
軽量鋼矢板建込工(両側分)	12.5	m			SG1D0033001 00 単第0 -0010 表
軽量鋼矢板建込工(両側分)	20	m			SG1D0033001 00 単第0 -0011 表
軽量鋼矢板建込工(両側分)	43.5	m			SG1D0033001 00 単第0 -0012 表
軽量鋼矢板引抜工(両側分)	12.5	m			SG1D0033002 00 単第0 -0013 表
軽量鋼矢板引抜工(両側分)	20	m			SG1D0033002 00 単第0 -0014 表
軽量鋼矢板引抜工(両側分)	43.5	m			SG1D0033002 00 単第0 -0015 表
土留支保工(軽量金属支保工)	12.5	m			SG1D0033008 00 単第0 -0016 表
土留支保工(軽量金属支保工)	63.5	m			SG1D0033008 00 単第0 -0017 表
土留支保工(軽量金属支保工)	12.5	m			SG1D0033008 00 単第0 -0018 表

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土留支保工(軽量金属支保工)					SG1D0033008 00
	63.5	m			単第0 -0019 表
軽量鋼矢板賃料 H=2.0~3.5m					F0013 00
	1	式			
支保工賃料					F0014 00
	1	式			
開削水替工					Y1I010109 レベル3
	1	式			
開削水替					Y1I01010901 レベル4
	1	式			
ポンプ運転工					SG1D0042001 00
	10	日			単第0 -0020 表
据付・撤去工					SG1D0042002 00
	1	現場			単第0 -0022 表
マンホール工					Y1I0102 レベル2
	1	式			
組立マンホール工					Y1I010202 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
組立0号マンホール					Y1I01020201 レベル4
	11	箇所			
組立0号マンホール 0号(内径750mm), 楕円 深さ2m以下					SG1D0052002 00
	5	箇所			単第0 -0023 表
組立0号マンホール 0号(内径750mm), 楕円 深さ2m超~3m以下					SG1D0052002 00
	6	箇所			単第0 -0024 表
汚水用人孔鉄蓋 φ600用T-25テザン入密閉ロック式					F0004 00
	5	組			
汚水用人孔鉄蓋 φ600用テザン入・密閉ロック式転落防止安全梯					F0011 00
	6	組			
変形防止調整金具					F0005 00
	11	箇所			
無収縮モルタル 25kg袋					TH003190 00
	7	袋			
マンホール付属品 調整リング 600×100					TH003100 00
	16	個			
マンホール付属品 調整リング 600×150					TH003102 00
	1	個			

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
円形0号(内径750)I種 斜壁 600×750×300	2	個			TH003034 00
円形0号(内径750)I種 斜壁 600×750×450	9	個			TH003036 00
円形0号(内径750)I種 管取付け壁 750×600	4	個			TH003052 00
円形0号(内径750)I種 管取付け壁 750×1200	1	個			TH003056 00
円形0号(内径750)I種 管取付け壁 750×1500	2	個			TH003058 00
円形0号(内径750)I種 管取付け壁 750×1800	4	個			TH003060 00
円形0号(内径750)I種 底版	11	個			TH003062 00
マンホール削孔費 0・1号(I種) 塩ビ管用, 径200用	12	箇所			TH003130 00
底部工(組立式)(組立0号マンホール)	11	箇所			SG1D0052001 00 単第0 -0025 表

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
外副管					Y1I01020207レベル4
	1	箇所			
外副管取付工					SG1D0051001 00
	1	箇所			単第0 -0029 表
副管用継手 φ 150					F0020 00
	1	個			
副管用90° 支管 φ 150					F0021 00
	1	個			
プレーンエンド管 φ 150					F0022 00
	0.6	m			
型枠 一般型枠 小型構造物					SPK21040142 00
	0.9	m2			単第0 -0030 表
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設					SPK21040140 00
	0.1	m3			単第0 -0031 表
小型マンホール工					Y1I010203 レベル3
	1	式			
小型マンホール(塩化ビニル製)					Y1I01020301レベル4
	8	箇所			

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
小型マンホール工 (塩化ビニル製) マンホール径300mm 起点および中間形式 深さ2m以下 本管径150mm~200mm	8	箇所			SG1D0057001 00 単第0 -0032 表
小口径鉄蓋 (デザイン入・密閉ロック式) φ300用 T-14	8	組			F0006 00 下水道単価
沈下防止盤 (再生プラスチック) φ300用 T-14	8	組			F0007 00 下水道単価
沈下防止盤 (コンクリート) φ300用 T-14	8	組			F0008 00 下水道単価
取付管およびます工	1	式			Y1I0104 レベル2
管路土工	1	式			Y1I010401 レベル3
管路掘削	1	式			Y1I01040101レベル4
機械掘削工(小型バックホウ)	13	m3			SG1D0001001 00 単第0 -0033 表
管路埋戻	1	式			Y1I01040102レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
機械投入埋戻工(小型バックホウ)	6	m3			SG1D0002002 00 単第0 -0035 表
機械投入埋戻工(小型バックホウ)	2	m3			SG1D0002002 00 単第0 -0036 表
発生土処理	1	式			Y1I01040103レベル4
発生土運搬工(4t積級, 2t積級, 機械積込み)	1	m3			SG1E0003002 00 単第0 -0037 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
残土受入費	1	m3			F0003 00 山田建設
ます設置工	1	式			Y1I010402 レベル3
ます(塩化ビニル製)	8	箇所			Y1I01040202レベル4
ます設置工(塩化ビニル製) ます径 200mm	8	箇所			SG1D0088004 00 単第0 -0039 表

本工事費 内訳表

頁0 -0012

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
蓋設置工(鋳鉄製防護蓋)					SG1D0088005 00
	6	箇所			単第0 -0040 表
鋳鉄製防護蓋 φ200 T-8 デザイン入 台座含む					F0026 00
	6	組			下水道単価
取付管布設工					Y1I010403 レベル3
	1	式			
取付管(硬質塩化ビニル管)					Y1I01040302レベル4
	1	式			
取付管布設および支管取付工 管径 150mm					SG1D0089002 00
	8	箇所			単第0 -0041 表
付帯工					Y1I0106 レベル2
	1	式			
舗装撤去工					Y1I010601 レベル3
	1	式			
舗装版切断					Y1I01060101レベル4
	340	m			
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下					SPK21040302 00
	340	m			単第0 -0042 表

本工事費 内訳表

頁0 -0013

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版破碎(小規模)	714	m2			Y1I01060103レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)	714	m2			SPK21040018 00
殻運搬処理	33	m3			単第0 -0043 表 Y1I01060105レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離6.0km以下(3.5km超)	33	m3			SPK21040138 00 単第0 -0044 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
アスファルト殻受入れ費	77	t			F0009 00 山田建設
舗装復旧工	1	式			Y1I010603 レベル3
不陸整正	410	m2			Y1I01060301レベル4
不陸整正 補足材料無し	410	m2			SPK21040224 00 単第0 -0045 表

本工事費 内訳表

頁0 -0014

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
下層路盤(車道・路肩部)	152	m2			Y1I01060302レベル4
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-40	152	m2			SPK21040225 00 単第0 -0046 表
上層路盤(車道・路肩部)	152	m2			Y1I01060304レベル4
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚120mm 1層施工	152	m2			SPK21040227 00 単第0 -0047 表
表層(車道・路肩部)	562	m2			Y1I01060408レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	562	m2			SPK21040234 00 単第0 -0048 表
舗装仮復旧工	1	式			Y1I010604 レベル3
表層(車道・路肩部)	152	m2			Y1I01060408レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	152	m2			SPK21040234 00 単第0 -0049 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
取付管付帯工					Y1I0106 レベル2
	1	式			
舗装撤去工					Y1I010601 レベル3
	1	式			
舗装版切断					Y1I01060101 レベル4
	19	m			
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下					SPK21040302 00
	19	m			単第0 -0042 表
舗装版破碎(小規模)					Y1I01060103 レベル4
	14	m2			
舗装版破碎積込(小規模土工)					SPK21040018 00
	14	m2			単第0 -0043 表
殻運搬処理					Y1I01060105 レベル4
	0.4	m3			
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離6.0km以下(3.5km超)					SPK21040138 00
	0.4	m3			単第0 -0044 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041

本工事費 内訳表

頁0 -0016

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
アスファルト殻受入れ費	1	t			F0009 00 山田建設
舗装復旧工	1	式			Y1I010603 レベル3
下層路盤(車道・路肩部)	7	m2			Y1I01060302レベル4
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-40	7	m2			SPK21040225 00 単第0 -0046 表
上層路盤(車道・路肩部)	7	m2			Y1I01060304レベル4
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚120mm 1層施工	7	m2			SPK21040227 00 単第0 -0047 表
舗装仮復旧工	1	式			Y1I010604 レベル3
表層(車道・路肩部)	7	m2			Y1I01060408レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	7	m2			SPK21040234 00 単第0 -0049 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
単独 管路施設(開削工法)					Y1I01 レベル1
	1	式			
管きょ工(開削)					Y1I0101 レベル2
	1	式			
管路土工					Y1I010101 レベル3
	1	式			
管路掘削					Y1I01010101レベル4
	1	式			
機械掘削工(バックホウ)					SG1D0001002 00
	10	m3			単第0 -0001 表
管路埋戻					Y1I01010102レベル4
	1	式			
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	6	m3			単第0 -0003 表
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	1	m3			単第0 -0005 表
発生土処理					Y1I01010103レベル4
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0018

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土運搬工(4t積級, 2t積級, 機械積込み)					SG1E0003002 00
	3	m ³			単第0 -0006 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
残土受入費					F0003 00
	3	m ³			山田建設
管布設工					Y1I010102 レベル3
	1	式			
硬質塩化ビニル管 φ200					Y1I01010203レベル4
	5.2	m			
硬質塩化ビニル管布設工 呼び径 200mm					SG1D0006001 00
	5.2	m			単第0 -0008 表
継手類					Y1I01010212レベル4
	2	箇所			
マンホール用可とう継手 VU φ200					F0001 00
	2	組			
埋設標識テープ					Y1I01010216レベル4
	5.2	m			

本工事費 内訳表

頁0 -0019

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
埋設標識シート 150×50 2倍	5.2	m			F0002 00
管基礎工	1	式			Y1I010103 レベル3
砂基礎 再生砂	1	m			Y1I01010301 レベル4
砂基礎工(機械施工)	0.5	m ³			SG1D0019002 00
再生砂	0.6	m ³			単第0 -0050 表 T0249 00
管路土留工	1	式			Y1I010105 レベル3
軽量鋼矢板土留	1	式			Y1I01010503 レベル4
軽量鋼矢板建込工(両側分)	6	m			SG1D0033001 00
軽量鋼矢板引抜工(両側分)	6	m			単第0 -0010 表 SG1D0033002 00
	6	m			単第0 -0013 表

本工事費 内訳表

頁0 -0020

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土留支保工(軽量金属支保工)	6	m			SG1D0033008 00 単第0 -0016 表
土留支保工(軽量金属支保工)	6	m			SG1D0033008 00 単第0 -0018 表
軽量鋼矢板賃料 H=2.0~2.5m	1	式			F0023 00
支保工賃料	1	式			F0024 00
開削水替工	1	式			Y1I010109 レベル3
開削水替	1	式			Y1I01010901 レベル4
ポンプ運転工	1	日			SG1D0042001 00 単第0 -0020 表
マンホール工	1	式			Y1I0102 レベル2
組立マンホール工	1	式			Y1I010202 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0021

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
組立1号マンホール					Y1I01020202レベル4
	1	箇所			
組立1号マンホール 1号(内径900mm) 深さ3m以下					SG1D0053002 00
	1	箇所			単第0 -0051 表
汚水用人孔鉄蓋 φ600用T-25テザイン入密閉ロック式転落防止安全					F0025 00
	1	組			
変形防止調整金具					F0005 00
	1	箇所			
無収縮モルタル 25kg袋					TH003190 00
	1	袋			
マンホール付属品 調整リング 600×150					TH003102 00
	1	個			
円形1号(内径900)I種 斜壁 600×900×450					TH003066 00
	1	個			
円形1号(内径900)I種 管取付け壁 900×1500					TH003092 00
	1	個			
円形1号(内径900)I種 底版 H=130					TH003096 00
	1	個			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
マンホール削孔費 0・1号(I種) 塩ビ管用, 径200用	1	個所			TH003130 00
底部工(組立式)(組立1号マンホール)	1	箇所			SG1D0053001 00
付帯工	1	式			単第0 -0052 表 Y1I0106 レベル2
舗装撤去工	1	式			Y1I010601 レベル3
舗装版切断	12	m			Y1I01060101 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	12	m			SPK21040302 00 単第0 -0042 表
舗装版破碎(小規模)	27	m ²			Y1I01060103 レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)	27	m ²			SPK21040018 00 単第0 -0043 表
殻運搬処理	1	m ³			Y1I01060105 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0023

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離6.0km以下(3.5km超)	1	m3			SPK21040138 00 単第0 -0044 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
アスファルト殻受入れ費	3	t			F0009 00 山田建設
舗装復旧工	1	式			Y1I010603 レベル3
不陸整正	15	m2			Y1I01060301 レベル4
不陸整正 補足材料無し	15	m2			SPK21040224 00 単第0 -0045 表
下層路盤(車道・路肩部)	6	m2			Y1I01060302 レベル4
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-40	6	m2			SPK21040225 00 単第0 -0046 表
上層路盤(車道・路肩部)	6	m2			Y1I01060304 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0024

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工	6	m2			SPK21040227 00 単第0 -0053 表
表層(車道・路肩部)	21	m2			Y1I01060408 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上厚50mm	21	m2			SPK21040234 00 単第0 -0054 表
舗装仮復旧工	1	式			Y1I010604 レベル3
表層(車道・路肩部)	6	m2			Y1I01060408 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	6	m2			SPK21040234 00 単第0 -0049 表
全工種共通仮設	1	式			Y1J01 レベル1
仮設工	1	式			Y1J0101 レベル2
交通管理工	1	式			Y1J010121 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員	1	式			Y1J01012101レベル4
交通誘導警備員B 補助	61	人			R0369 00
交通誘導警備員B 単独	4	人			R0369 00
直接工事費 #0020計=支給品等(材料), 無償貸付					
運搬費					Z0004
運搬費	1	式			YZZ04 レベル2
運搬費	1	式			YZZ04001 レベル3
仮設材運搬費	1	式			YZZ04001004レベル4
仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬 運搬距離 3.2km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00
	1	式			単第0 -0055 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬 運搬距離 3.2km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00 単第0 -0058 表
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06 レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3
管内調査費	1	式			YZZ06001006 レベル4
管路調査工 洗浄・カメラ調査・報告書含む	157.3	m			V0100 00 単第0 -0061 表
管路調査工 洗浄・カメラ調査・報告書含む	5.2	m			V0100 00 単第0 -0061 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					
** 工事原価 **					
一般管理费率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報…… 対象額…… 率……					

施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)

SG1D0002003

単第0 -0003 表

頁0 -0031

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	7.6	時間			単第0-0002 表
タンバ締固め	100	m3			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 山積0.28m3			C=6 材料別途		

施工単価表

タンパ締固め

SPK21040020

単第0 -0004 表

頁0 -0032

機械構成比: 1.37% 労務構成比: 97.25% 材料構成比: 1.38% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m3 当り 1,422.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	1.37%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	45.35%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.38%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)

SG1D0002003

単第0 -0005 表

頁0 -0033

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
再生砂	126.300	m3			
機-01_バックホウ運転 113 標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	7.6	時間			単第0-0002 表
タンパ締固め	100	m3			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 山積0.28m3 E=126.3 土量変化率を考慮した埋戻土量(m3/100m3)			C=2 再生砂		

施工単価表

ダンプトラック 運転

SM2203010

単第0 -0007 表

011_オンロード ディーゼル

4t積級

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1.00	人			
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	34.00	L			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 4 t (良)	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 011_オンロード ディーゼル C=1 運転労務数量(人/日) E=1.29 機械損料数量(供用日/日)			B=2 4t積級 D=34 燃料消費量(L/日) F=1 路面状況:良好		

施工単価表

軽量鋼矢板建込工(両側分)

SG1D0033001

単第0 -0010 表

頁0 -0038

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.0	人			
特殊作業員	2.0	人			
普通作業員	6.0	人			
機-01_バックホウ運転 113 標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	11.6	時間			単第0-0002 表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 山積0.28m3			B=2 掘削深	2.0m以下	

施工単価表

軽量鋼矢板建込工(両側分)

SG1D0033001

単第0 -0011 表

頁0 -0039

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.4	人			
特殊作業員	2.4	人			
普通作業員	7.2	人			
機-01_バックホウ運転 113 標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	12.5	時間			単第0-0002 表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 山積0.28m3			B=3 掘削深	2.5m以下	

施工単価表

軽量鋼矢板建込工(両側分)

SG1D0033001

単第0 -0012 表

頁0 -0040

1
m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.8	人			
特殊作業員	2.8	人			
普通作業員	8.4	人			
機-01_バックホウ運転 113 標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	13.4	時間			単第0-0002 表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 山積0.28m3			B=4 掘削深	3.0m以下	

施工単価表

軽量鋼矢板引抜工(両側分)

SG1D0033002

単第0 -0013 表

頁0 -0041

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.9	人			
特殊作業員	0.9	人			
普通作業員	2.7	人			
<作>トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊, オペレータ付	1.0	日			
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 TC4.9t吊			B=2 掘削深	2.0m以下	

施工単価表

軽量鋼矢板引抜工(両側分)

SG1D0033002

単第0 -0014 表

頁0 -0042

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.9	人			
特殊作業員	0.9	人			
普通作業員	2.7	人			
<作>トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊, オペレータ付	1.0	日			
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 TC4.9t吊			B=3 掘削深	2.5m以下	

施工単価表

軽量鋼矢板引抜工(両側分)

SG1D0033002

単第0 -0015 表

頁0 -0043

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	1.0	人			
普通作業員	3.0	人			
<作>トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊, オペレータ付	1.1	日			
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 TC4.9t吊			B=4 掘削深	3.0m以下	

施工単価表

ポンプ運転工

SG1D0042001

単第0 -0020 表

頁0 -0048

1 日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	0.11	人			
普通作業員	0.05	人			
工事用水中ポンプ損料	1	日			単第0-0021 表
発動発電機 ガソリンエンジン駆動 定格容量3kVA	1	日			
諸雑費	18	%			#09
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 作業時排水 C=1 ポンプ1台			B=2 D=1	発動発電機 普通型(潜水ポンプ) 口径50mm全揚程5m	

施工単価表

頁0 -0054

コンクリート

SPK21040140

単第0 -0026 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.53% 労務構成比: 37.78%

材料構成比: 57.69%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

28,266.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<貸>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.28%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	11.31%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.72%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	6.93%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	6.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	55.69%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.89%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0057

モルタル練
高炉
機械構成比: 0.00%

SPK21040141

単第0 -0028 表

混合比1:2

1

m3 当り

労務構成比: 62.07%

材料構成比: 37.93%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

45,040.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	62.07%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
セメント(袋) 高炉B種 25kg/袋	28.13%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPC00063 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	9.80%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=1 高炉 C=1 -(全ての費用)			B=2 混合比1:2		

施工単価表

頁0 -0059

型枠 SPK21040142 単第0 -0030 表 1 m2 当り
 一般型枠 小型構造物 標準単価: 7,775.20000
 機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	45.16%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.11%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

頁0 -0060

コンクリート

SPK21040140

単第0 -0031 表

小型構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.43%

労務構成比: 39.79%

材料構成比: 55.78%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

28,968.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<貸>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.18%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	12.91%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	11.03%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	6.76%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	6.39%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	53.83%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.84%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

機械投入埋戻工(小型バックホウ)

SG1D0002002

単第0 -0035 表

頁0 -0065

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
機-18_小型バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.13m3(平積0.10m3)	1.538	日			単第0-0034 表 100/65
タンバ締固め	100	m3			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 山積0.13m3			B=6 材料別途		

施工単価表

機械投入埋戻工(小型バックホウ)

SG1D0002002

単第0 -0036 表

頁0 -0066

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
再生砂	126.300	m3			
機-18_小型バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.13m3(平積0.10m3)	1.538	日			単第0-0034 表 100/65
タンパ締固め	100	m3			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 山積0.13m3 D=126.3 土量変化率を考慮した埋戻土量(m3/100m3)			B=2 再生砂		

施工単価表

ダンプトラック 運転

SM2203010

単第0 -0038 表

011_オンロード ディーゼル

2t積級

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1.00	人			
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	22.00	L			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 2t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 2 t (良)	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 011_オンロード ディーゼル C=1 運転労務数量(人/日) E=1.29 機械損料数量(供用日/日)			B=1 2t積級 D=22 燃料消費量(L/日) F=1 路面状況:良好		

施工単価表

頁0 -0072

舗装版切断

SPK21040302

単第0 -0042 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m

当り

機械構成比: 6.24% 労務構成比: 54.57%

材料構成比: 39.19%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 562.41000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	4.22%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.07%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.53%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.29%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	36.35%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.92%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK21040018

単第0 -0043 表

頁0 -0074

機械構成比: 23.01% 労務構成比: 69.05% 材料構成比: 7.94% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m2 当り 1,524.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	23.01%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	69.05%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	7.94%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

頁0 -0075

殻運搬

SPK21040138

単第0 -0044 表

舗装版破碎

DID区間有り 運搬距離6.0km以下(3.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 47.38% 労務構成比: 37.64%

材料構成比: 14.98% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,638.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	47.38%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	37.64%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	14.98%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=3 機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下) D=26 運搬距離6.0km以下(3.5km超)		

施工単価表

頁0 -0076

不陸整正
 補足材料無し
 機械構成比: 25.67%

SPK21040224

単第0 -0045 表

労務構成比: 67.46%

材料構成比: 6.87%

市場単価構成比: 0.00%

1 m2 当り
 標準単価: 112.53000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	12.66%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	9.81%		ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	3.20%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
運転手(特殊)	42.61%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	13.11%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	2.19%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	6.87%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

頁0 -0078

下層路盤(車道・路肩部)

SPK21040225

単第0 -0046 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.23% 労務構成比: 15.52%

材料構成比: 79.25% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 1,077.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	2.12%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	1.64%		ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.53%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	7.14%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.51%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	2.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	0.68%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0079

下層路盤(車道・路肩部)

SPK21040225

単第0 -0046 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.23% 労務構成比:

15.52%

材料構成比: 79.25%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,077.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生クラッシュラン 40~0mm	77.85%		クラッシュラン 40~0mm [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00008 TTPT00346
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	1.15%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=4 RC-40		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0080

上層路盤(車道・路肩部)

SPK21040227

単第0 -0047 表

RM-30

全仕上り厚120mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 10.38% 労務構成比: 30.75%

材料構成比: 58.87%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 543.99000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	4.20%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	3.25%		ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.06%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	14.14%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	4.97%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	4.74%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.36%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0081

上層路盤(車道・路肩部)

SPK21040227

単第0 -0047 表

RM-30

全仕上り厚120mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 10.38% 労務構成比: 30.75%

材料構成比: 58.87%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 543.99000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30~0mm	56.09%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	2.28%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5 H=1	RM-30 -(全ての費用)		E=120 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):120.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0082

表層(車道・路肩部)

SPK21040234

単第0 -0048 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.58%

労務構成比: 10.02%

10.02%

材料構成比: 88.40%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,527.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3~6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.02%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.16%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.16%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.67%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.09%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	2.04%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	0.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0083

表層(車道・路肩部)

SPK21040234

単第0 -0048 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.58% 労務構成比: 10.02%

材料構成比: 88.40%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,527.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	80.30%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.54%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	0.48%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0084

表層(車道・路肩部)

SPK21040234

単第0 -0049 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.51% 労務構成比: 44.36%

材料構成比: 55.13%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,232.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.32%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.17%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	22.03%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	15.40%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.42%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)	54.94%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00023 TTPT00284
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.14%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014

施工単価表

頁0 -0085

表層(車道・路肩部)

SPK21040234

単第0 -0049 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.51% 労務構成比: 44.36%

材料構成比: 55.13%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,232.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	0.04%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=8 再生粗粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=30 1層当り平均仕上り厚(mm) E=5 瀝青材料無し H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0089

上層路盤(車道・路肩部)

SPK21040227

単第0 -0053 表

RM-30

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 10.38% 労務構成比: 30.75%

材料構成比: 58.87% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 543.99000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	4.20%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	3.25%		ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.06%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	14.14%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	4.97%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	4.74%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.36%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0090

上層路盤(車道・路肩部)

SPK21040227

単第0 -0053 表

RM-30

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 10.38% 労務構成比: 30.75%

材料構成比: 58.87% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 543.99000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30~0mm	56.09%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	2.28%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5 RM-30 H=1 -(全ての費用)			E=100 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0091

表層(車道・路肩部)

SPK21040234

単第0 -0054 表

平均幅員1.4m以上3.0m以下

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.85% 労務構成比: 14.39%

材料構成比: 83.76%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,607.1000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅1.4~3.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.24%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅1.4~3.0m		KTPC00059 KTPT00059
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.25%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
<賃>タイヤローラ 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.23%		タイヤローラ 質量3~4t		KTPC00057 KTPT00057
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	5.15%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	3.53%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	3.47%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	1.18%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0092

表層(車道・路肩部)

SPK21040234

単第0 -0054 表

平均幅員1.4m以上3.0m以下

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.85% 労務構成比:

14.39%

材料構成比: 83.76%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,607.1000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	76.34%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.17%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	0.24%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3 平均幅員1.4m以上3.0m以下 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

報告書作成工

V0310
日本下水道協会

単第0 -0067 表

頁0 -0105

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
測量主任技師 (外業)	1	人			
測量技師 (外業)	1	人			
測量技師補 (外業)	1	人			
DVD	1	枚			
写真代	1	式			
雑材料	10	%			#01
全体割増		式			
*** 単位当たり ***	1	式			

1. 数量計算書

中之町(三原東処理分区)

補助工区

塩ビ管管布設工(No.1)

素掘り

(19)工区 (補)単

管径 φ =	200	mm
現況表層厚 =	0.05	m
現況路盤厚 =	0.10	m
道路幅員 =		m
掘削幅 =	0.60	m
復旧表層厚 =	0.05	m
復旧路盤厚 =	0.20	m

路線名	人孔番号	人孔間延長 m	人孔減長 m	掘削深 m	※掘削工の選定は、市指針参照。				管延長 m	ゴム輪受け直管 (SRA) m	ブレンエンド直管 (PE) m	マンホール継手 個	白在継手 個	備考 (平均掘削幅)
					掘削土量									
					人 力 m ³	BH 0.13m ³ m ³	BH 0.28m ³ m ³	BH 0.45m ³ m ³						
2663-2	2663-2-1	6.00	0.38	1.26										
	2663-2-2		0.29	1.31			5.5		5.33	4.0	1.33	1		0.73
2663-2	2663-2-3	15.00	0.38	1.26										
	2663-2-4		0.38	1.31			13.8		14.24	12.0	2.24	2		0.73
	2663-2-5	7.50	0.38	1.25										
	2663-2-6		0.29	1.30			6.8		6.83	4.0	2.83	1		0.73
	2663-2-7	5.00	0.20	1.26										
	2663-2-8		0.38	1.31			4.6		4.42	4.0	0.29	1	1	0.73
	2663-2-9	12.00	0.38	1.25										
	2663-2-10		0.29	1.30			11.0		11.33	8.0	3.33	1		0.73
	2663-2-11	20.00	0.18	1.26										
	2663-2-12		0.38	1.31			18.4		19.44	16.0	3.31	1	1	0.73
	2663-2-13	7.00	0.38	1.26										
	2663-2-14		0.29	1.31			6.4		6.33	4.0	2.33	1		0.73
	2663-2-15	8.00	0.18	1.26										
	2663-2-16		0.38	1.31			7.4		7.44	4.0	3.31	1	1	0.73
計		80.50						73.9		75.36	56.0	18.97	9	3

本管	ブレンエンド直管	18.97	÷	4.00	m/本=	5	本
	ゴム輪受け口片受直管	56.0	÷	4.00	m/本=	14	本

土	掘削	掘削工		m ³	合計	発生土埋戻	砂埋戻	残土				
		人力掘削工	機械掘削工									
土	掘削	人力掘削工	人力	m ³	73.9	発生土埋戻	39.1	砂埋戻	残土			
		機械掘削工	バックホウ	0.13 m ³								
		機械掘削工	バックホウ	0.28 m ³								
		機械掘削工	バックホウ	0.45 m ³								
土	埋戻	発生土	V= 73.9 - (0.416 × 0.64 + 0.20 × 0.83) × 80.50 =		39.1	砂埋戻	基礎工	上幅	0.62			
		砂埋戻	V= { (0.316 × 0.65) × 0.785 × 0.216 ² } × 75.36 =					12.8	下幅	0.60		
			砂基礎工	V= 0.61 × 0.10 × 75.36 =					4.6	上幅	0.68	
										30.5	下幅	0.62
	残土	V= 73.9 - (39.1 ÷ 0.9) =		30.5	管廻り埋戻高= 0.316 管外径 = 0.216 砂埋戻高 = 0.416 砂基礎高 = 0.10							

塩ビ管管布設工(No.2)

矢板施工

(19)工区 (補)・単

管 径 φ =	200	mm
現況表層厚 =	0.05	m
現況路盤厚 =	0.10	m (上下路盤)
道路幅員 =		m
掘削幅 =	0.95	m
復旧表層厚 =	0.05	m
復旧路盤厚 =	0.20	m

路線名	人孔番号	人孔間延長	人孔減長	掘削深	※掘削工の選定は、市指針参照。				管延長	ゴム輪受け直管 (SRA)	ブレンエンド直管 (PE)	マンホール	可とう継手	白在継手	備考 (平均掘削幅)
					掘削土量	人	BH	BH							
		m	m	m	m ³	m ³	m ³	m ³	m	m	m	個	個	個	
2663-2	2682-2 2663-2-1	5.00	0.38 0.38	1.98 2.03				9.4	4.24	4.0	0.24	2			0.95
2663-2	2663-2-2 2663-2-3	8.50	0.20 0.38	1.53 1.58				12.4	7.92	4.0	3.79	1	1		0.95
計		13.50						21.8	12.16	8.0	4.03	3	1		

本管	ブレンエンド直管	4.03	÷	4.00	m/本=	2	本
	ゴム輪受け口片受直管	8.0	÷	4.00	m/本=	2	本

土	掘削	人力掘削工	人 力	m ³	合計	発生土埋戻	砂埋戻	残 土	
		機械掘削工	バックホウ	0.13 m ³					m ³
		機械掘削工	バックホウ	0.28 m ³	21.8				
		機械掘削工	バックホウ	0.45 m ³	21.8				
工	埋戻	発生土	V= 21.8 - (0.416 × 0.95 + 0.20 × 0.95) × 13.50 = 13.9 m ³			平均掘削深 1.70			
		砂埋戻	V= { (0.316 × 0.95) 0.785 × 0.216 ² } × 12.16 = 3.2 m ³			砂埋戻	上幅	0.95	
		砂基礎工	V= 0.95 × 0.10 × 12.16 = 1.2 m ³			砂埋戻	下幅	0.95	
		残 土	V= 21.8 - (13.9 ÷ 0.9) = 6.4 m ³			管廻り埋戻高= 0.316 管 外 径 = 0.216 砂 埋 戻 高 = 0.416 砂 基 礎 高 = 0.10			

塩ビ管管布設工(No.1)

素掘り

(20)工区 (補)単

管径 φ =	200	mm
現況表層厚 =	0.05	m
現況路盤厚 =	0.10	m
道路幅員 =		m
掘削幅 =	0.60	m
復旧表層厚 =	0.05	m
復旧路盤厚 =	0.20	m

路線名	人孔番号	人孔間延長 m	人孔減長 m	掘削深 m	※掘削工の選定は、市指針参照。				管延長 m	ゴム輪受け直管 (SRA) m	ブレンエンド直管 (PE) m	マンホール継手 個	白在継手 個	備考 (平均掘削幅)
					掘削土量									
					人力 m ³	BH 0.13m ³ m ³	BH 0.28m ³ m ³	BH 0.45m ³ m ³						
2663	2663-2-10	4.00	0.38	1.26					3.33		3.33	1		0.73
	2663-1		0.29	1.31			3.7							
	2663-1	5.00	0.20	1.27					4.51	4.0	0.38		1	0.73
	2663-2		0.29	1.32			4.6							
	2663-2	4.00	0.20	1.31					3.51		3.38		1	0.73
	2663-3		0.29	1.36			3.8							
計		13.00						12.1	11.35	4.0	7.09	1	2	

本管	ブレンエンド直管	7.09	÷	4.00	m/本=	2	本
	ゴム輪受け口片受直管	4.0	÷	4.00	m/本=	1	本

土	掘削	発生土埋戻		砂埋戻基礎工	砂埋戻	残土				
		発生土	埋戻							
土	掘削	人力掘削工	人力	m ³	合計	6.5	1.9	4.9		
		機械掘削工	バックホウ	0.13 m ³	m ³					
		機械掘削工	バックホウ	0.28 m ³	12.1					
		機械掘削工	バックホウ	0.45 m ³	12.1					
土	埋戻	平均掘削深		1.28						
		発生土	V=	12.1	- (0.416 × 0.64	m ³		砂埋戻	上幅	0.62
					+ 0.20 × 0.84	m ³		基礎工	下幅	0.60
) × 13.00 =	6.5		砂埋戻	上幅	0.68
土	埋戻	砂埋戻	V=	{ (0.316 × 0.65) × 0.785 × 11.35	m ³		砂埋戻	下幅	0.62	
		砂基礎工	V=	0.61 × 0.10 × 11.35	m ³					
土	残土	V=	12.1 - (6.5 ÷ 0.9) =	4.9		管廻り埋戻高= 0.316 管外径 = 0.216 砂埋戻高 = 0.416 砂基礎高 = 0.10				

塩ビ管管布設工(No.2)

矢板施工

(20)工区 (補)単

管径 φ =	200	mm
現況表層厚 =	0.05	m
現況路盤厚 =	0.10	m
道路幅員 =		m
掘削幅 =	0.95	m
復旧表層厚 =	0.05	m
復旧路盤厚 =	0.20	m

路線名	人孔番号	人孔間延長	人孔減長	掘削深	※掘削工の選定は、市指針参照。			管延長	ゴム輪受け直管 (SRA)	片受け直管 (PE)	マンホール継手	可とう継手	白在継手	備考 (平均掘削幅)
					掘削土量	人	BH							
		m	m	m	m ³	m ³	m ³	m ³	m	m	個	個	個	
2663	2663-3	4.00	0.20	1.62			6.2	3.51		3.38			1	0.95
	2663-4		0.29	1.67										
	2663-4	4.00	0.20	2.07			7.9	3.42		3.29	1		1	0.95
	2663-5		0.38	2.12										
	2663-5	23.50	0.38	2.35			52.5	22.74	20.0	2.74	2			0.95
	2663-6		0.38	2.40										
	2663-6	11.00	0.38	2.42			25.3	10.24	8.0	2.24	2			0.95
	2663-7		0.38	2.47										
	2663-7	9.00	0.38	2.31			19.8	8.24	8.0	0.24	2			0.95
	2663-8		0.38	2.36										
	2663-8	11.00	0.38	2.20			23.0	10.24	8.0	2.24	2			0.95
	2663-9		0.38	2.25										
計		62.50					134.7	58.39	44.0	14.13	9		2	

本管	ブレンエンド直管	14.13	÷	4.00	m/本=	4	本
	ゴム輪受け口片受直管	44.0	÷	4.00	m/本=	11	本

土	掘削	人力掘削工	人	力	合計	発生土埋戻	砂埋戻	残土	
		バックホウ	0.13 m ³	0.28 m ³	134.7 m ³				0.45 m ³
工	埋戻	発生土	V= 134.7 - (0.416 × 0.95 + 0.20 × 0.95) × 62.50 = 98.1 m ³			98.1	砂埋戻基礎工	平均掘削深 2.27	上幅 0.95
		砂埋戻	V= { (0.316 × 0.95) × 0.785 × 0.216 ² } × 58.39 = 15.4 m ³					下幅 0.95	
		砂基礎工	V= 0.95 × 0.10 × 58.39 = 5.5 m ³						
		残土	V= 134.7 - (98.1 ÷ 0.9) = 25.7 m ³						
						管廻り埋戻高= 0.316			
						管外径 = 0.216			
						砂埋戻高 = 0.416			
						砂基礎高 = 0.10			

0号組立人孔設置工数量総括表 【補助区間集計表】

		形状寸法	2663	2660	2659		数量	単位	摘要	
躯体材料	人孔鉄蓋	T-14 (転落防止)	1	5			6	組		
	人孔鉄蓋	T-14 (一般)	5				5	組		
	マンホール蓋固定工	調整高	0.18	0.16			0.34	m		
	調整リング	600×200	4	2			6			
	調整リング	600×150		1			1	個		
	調整リング	600×100	2	2			4	個		
	調整リング	600×50						個		
	斜壁	600/750 ×600						個		
	斜壁	600/750 ×450	6	3			9	個		
	斜壁	600/750 ×300		2			2	個		
	直壁	750×1500						個		
	直壁	750×1200						個		
	直壁	750×900						個		
	直壁	750×600						個		
	直壁	750×300						個		
	く体ブロック	750×1800		4			4	個		
	く体ブロック	750×1500	1	1			2	個		
	く体ブロック	750×1200	1				1	個		
	く体ブロック	750×900						個		
	く体ブロック	750×600	4				4	個		
底版		6	5			11	個			
施工	ブロック据付工	2.0m以下	5				5	箇所		
	ブロック据付工	3.0m以下	1	5			6	箇所		
	ブロック据付工	4.0m以下						箇所		
	削孔工	φ200	7	5			12	箇所		
	削孔工	φ150						箇所		
	底部工		6	5			11	箇所		
	底部工(インバートなし)							箇所		
	インバート工							箇所		
	副管工	1m未満		1				1	箇所	
		1.0m~1.5m							箇所	
1.5m~2.0m								箇所		
コンクリート防食塗料 平割管	セラミックC種 0.40m	1	1			2	m2 箇所			

0号組立人孔設置工数量総括表

		形状寸法	No. 1	No. 2	No. 3		数量	単位	摘要	
躯体材料	人孔鉄蓋	T-14 (転落防止)	1				1	組		
	人孔鉄蓋	T-14 (一般)	5				5	組		
	マンホール蓋固定工	調整高	0.18				0.18	m		
	調整リング	600×200	4				4			
	調整リング	600×150						個		
	調整リング	600×100	2				2	個		
	調整リング	600×50						個		
	斜壁	600/750 ×600						個		
	斜壁	600/750 ×450	6				6	個		
	斜壁	600/750 ×300						個		
	直壁	750×1500						個		
	直壁	750×1200						個		
	直壁	750×900						個		
	直壁	750×600						個		
	直壁	750×300						個		
	く体ブロック	750×1800						個		
	く体ブロック	750×1500	1				1	個		
	く体ブロック	750×1200	1				1	個		
	く体ブロック	750×900						個		
	く体ブロック	750×600	4				4	個		
底版		6				6	個			
施工	ブロック据付工	2.0m以下	5				5	箇所		
	ブロック据付工	3.0m以下	1				1	箇所		
	ブロック据付工	4.0m以下						箇所		
	削孔工	φ200	7				7	箇所		
	削孔工	φ150						箇所		
	底部工		6				6	箇所		
	底部工(インバートなし)							箇所		
	インバート工							箇所		
	副管工		1m未満	1				1	箇所	
			1.0m~1.5m						箇所	
1.5m~2.0m								箇所		
半割管	0.53m	1				1	箇所			

0号組立人孔設置工数量総括表

		形状寸法	No. 1	No. 2	No. 3		数量	単位	摘要	
躯体材料	人孔鉄蓋	T-14 (転落防止)	5				5	組		
	人孔鉄蓋	T-14 (一般)						組		
	マンホール蓋固定工	調整高	0.16				0.16	m		
	調整リング	600×200	2				2			
	調整リング	600×150	1				1	個		
	調整リング	600×100	2				2	個		
	調整リング	600×50						個		
	斜壁	600/750 ×600						個		
	斜壁	600/750 ×450	3				3	個		
	斜壁	600/750 ×300	2				2	個		
	直壁	750×1500						個		
	直壁	750×1200						個		
	直壁	750×900						個		
	直壁	750×600						個		
	直壁	750×300						個		
	く体ブロック	750×1800	4				4	個		
	く体ブロック	750×1500	1				1	個		
	く体ブロック	750×1200						個		
	く体ブロック	750×900						個		
	く体ブロック	750×600						個		
	底版		5				5	個		
	施工	ブロック据付工	2.0m以下						箇所	
		ブロック据付工	3.0m以下	5				5	箇所	
		ブロック据付工	4.0m以下						箇所	
削孔工		φ200	5				5	箇所		
削孔工		φ150						箇所		
底部工			5				5	箇所		
底部工(インバートなし)								箇所		
インバート工								箇所		
半割管		0m	1				1	箇所		
コンクリート防食塗料		セラミックC種						m2		

塩ビ製小型マンホール工 集計表 【補助区間集計表】

(19)工区 補単

名 称	形状・寸法	数量内訳書				合計	単位	設計数量
		2663	2660	2659				
铸铁製防護蓋	φ 428 mm T-14	4	4			8	組	
台座(沈下防止板)	φ 620 mm	4	4			8	組	
塩ビ製内蓋	φ 300 mm	4	4			8	個	
ドロップ用	90° 曲管 φ 200 mm						個	
	段差調整管 φ 100 mm× 4.00 m						m	
立 管	ド ロ ッ プ φ 300 mm× 4.00 m						m	
	一 般 φ 300 mm× 4.00 m	2,399	3,952			6,351	m	
		1	1			2	本	
塩ビ製小型マンホール	KDR φ 300 mm						個	
	DR φ 300 mm						個	
	90° Y φ 300 mm						個	
	90WY φ 300 mm						個	
	WLS φ 300 mm						個	
	45° Y φ 300 mm						個	
	90° φ 300 mm						個	
	60° φ 300 mm						個	
	45° φ 300 mm						個	
	30° φ 300 mm			4		4	個	
	15° φ 300 mm	2				2	個	
	ST φ 300 mm	2				2	個	
	KT φ 300 mm						個	
	異径ソケット φ 200× φ 150		1			1	個	
削 孔	VU 100 mm						箇所	
	VU 150 mm						箇所	
	VU 200 mm						箇所	

塩ビ製小型マンホール工集計表

(19) 工区 (補) 単

名 称	形状・寸法	数量内訳書				合計	単位	設計数量
		No. 1	No. 2	No. 3				
铸铁製防護蓋	φ 428 mm T-14	4				4	組	
台座(沈下防止板)	φ 620 mm	4				4	組	
塩ビ製内蓋	φ 300 mm	4				4	個	
ドロップ用	90° 曲管 φ 200 mm						個	
	段差調整管 φ 100 mm × 4.00 m						m	
立 管	ド ロ ッ プ φ 300 mm × 4.00 m						m	
	一 般 φ 300 mm × 4.00 m	2,399				2,399	m	
						1	本	
塩ビ製小型マンホール	KDR φ 300 mm						個	
	DR φ 300 mm						個	
	90° Y φ 300 mm						個	
	90WY φ 300 mm						個	
	WLS φ 300 mm						個	
	45° Y φ 300 mm						個	
	90° φ 300 mm						個	
	60° φ 300 mm						個	
	45° φ 300 mm						個	
	30° φ 300 mm						個	
	15° φ 300 mm	2				2	個	
	ST φ 300 mm	2				2	個	
	KT φ 300 mm						個	
	異径ソケット φ 200 × φ 150						個	
削 孔	VU 100 mm						箇所	
	VU 150 mm						箇所	
	VU 200 mm						箇所	

塩ビ製小型マンホール工集計表

(20)工区 補単

名称	形状・寸法	数量内訳書					合計	単位	設計数量
		No. 1	No. 2	No. 3					
铸铁製防護蓋	φ 428 mm T-14	4					4	組	
台座(沈下防止板)	φ 620 mm	4					4	組	
塩ビ製内蓋	φ 300 mm	4					4	個	
ドロップ用	90° 曲管 φ 200 mm							個	
	段差調整管 φ 100 mm× 4.00 m							m	
立管	ドロップ φ 300 mm× 4.00 m							m	
	一般 φ 300 mm× 4.00 m	3.952					3.952	m	
塩ビ製小型マンホール	KDR φ 300 mm							個	
	DR φ 300 mm							個	
	90° Y φ 300 mm							個	
	90WY φ 300 mm							個	
	WLS φ 300 mm							個	
	45° Y φ 300 mm							個	
	90° φ 300 mm							個	
	60° φ 300 mm							個	
	45° φ 300 mm							個	
	30° φ 300 mm	4					4	個	
	15° φ 300 mm							個	
	ST φ 300 mm							個	
	KT φ 300 mm							個	
	異径ソケット φ 200× φ 150	1					1	個	
削孔	VU 100 mm							箇所	
	VU 150 mm							箇所	
	VU 200 mm							箇所	

取付管工集計表 【補助区間集計表】

(3-6) 工区 (補) 単

名称	形状・寸法	数量内訳書				合計	単位	設計数量
		2663	2660	2659				
取付管工	取付管箇所	4	4			8	箇所	
	取付管延長	10.40	10.20			20.60	m	
	平均取付管延長					2.58	m	
	プレーンエンド直管 φ150×4.00m	8.81	8.28			17.09	m	
						5	本	
	90° 可とう支管 φ150	4	4			8	個	
	60° 曲管 φ150 mm	4	4			8	個	
	30° 曲管 φ150 mm						個	
	SRB片受直管 φ150×0.80m	4	4			8	個	
	塩ビ製人孔用支管 φ150×300mm						個	
	可とうマンホール継手 φ150						個	
	自在管φ150	4	4			8	個	
	本管接続	4	4			8	箇所	
	マンホール接続						箇所	
塩ビ製マンホール接続						箇所		
土 工	人力掘削						m ³	
	機械掘削 BH 0.28 m ³	5.3	7.2			12.5	m ³	
	発生土埋戻し 人力						m ³	
	" BH 0.28 m ³		6			6	m ³	
	砂埋戻し・砂基礎 人力						m ³	
	" BH 0.28 m ³	1.1	1			2.1	m ³	
残土処分 BH 0.28 m ³ 4t車	0.9	0.5			1.4	m ³		
ます設置工	塩ビ製柵 φ 200 mm 1.5 m以下	4	4			8	箇所	
	鋳鉄製防護蓋 φ 200 mm用	2	4			6	箇所	
	塩ビ製密閉蓋 φ 200 mm用	2				2	箇所	

取付管工集計表

(19)工区 (補)単

名称	形状・寸法	数量内訳書					合計	単位	設計数量
		No.1	No.2						
取付管工	取付管箇所	4					4	箇所	
	取付管延長	10.40					10.40	m	
	平均取付管延長						2.60	m	
	プレーンエンド直管 φ150×4.00m	8.81					8.81	m	
							3	本	
	90° 可とう支管 φ150	4					4	個	
	60° 曲管 φ150 mm	4					4	個	
	30° 曲管 φ150 mm							個	
	SRB片受直管 φ150×0.80m	4					4	個	
	塩ビ製人孔用支管 φ150×300mm							個	
	可とうマンホール継手 φ150							個	
	自在管φ150	4					4	個	
	本管接続	4					4	箇所	
	マンホール接続							箇所	
	塩ビ製マンホール接続							箇所	
土 工	人力掘削							m ³	
	機械掘削 BH 0.28 m ³	5.3					5.3	m ³	
	発生土埋戻し 人力							m ³	
	" BH 0.28 m ³	4					4	m ³	
	砂埋戻し・砂基礎 人力							m ³	
	" BH 0.28 m ³	1.1					1.1	m ³	
	残土処分 BH 0.28 m ³ 4t車	0.9					0.9	m ³	
ます設置工	塩ビ製柵 φ 200 mm 1.5 m以下	4					4	箇所	
	鋳鉄製防護蓋 φ 200 mm用	2					2	箇所	
	塩ビ製密閉蓋 φ 200 mm用	2					2	箇所	

取 付 管 工

(19) 工区 (補) 単

(現況舗装構成)

舗装表層 =	0.05 m
上層路盤 =	0.10 m
下層路盤 =	

道路幅員 =		~		m
本管掘削幅 =		m		
取付管掘削 =	0.55 m			

(復旧舗装構成)

舗装表層厚 =	0.05 m
上層路盤厚 =	0.10 m
下層路盤厚 =	0.10 m

φ 150 mm

路線名	数量	宅	道	取付管延長		本管上被	a	b	c	a×b×c	本管接続	人孔接続	塩ビ人孔接続	塩ビ人孔用支管	可とう支管	曲管	PE直管	SRB	樹設置工	铸铁製防護蓋	塩ビ製密閉蓋	
				掘削深	掘削幅		掘削延長	掘削土量	箇所	箇所												箇所
右	左	箇所	箇所×延長	小計	m	m	m	m	m ³	箇所	箇所	箇所	個	個	個	m	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	
2663-2	2	1	3× 1.70	5.10	1.01	0.91 0.86	0.64	5.10- (0.37×3)=	3.99	2.2	3				3	3	3.99	3	3	1	2	
		1	1× 5.30	5.30	1.28	1.04 0.99	0.65	5.30- (0.48×1)=	4.82	3.1	1				1	1	4.82	1	1	1		
右																						
左																						
右																						
左																						
右																						
左																						
右																						
左																						
右																						
左																						
右																						
左																						
右																						
左																						
右																						
左																						
右																						
左																						
計	2	2		10.40					8.81	5.3	箇所 4	箇所 4	箇所 4	ケ 4	ケ 4	ケ 4	m 8.81	ケ 4	箇所 4	箇所 2	箇所 2	

配管延長		m	10.40																			m	8.81
掘削	人力			m ³	発生土埋戻			5.3-(0.575×0.25×8.81)														m ³	4.0
	BH0.28m ³			m ³	砂・砂基礎埋戻			(0.575×0.25-0.15 ² ×0.785)×8.81														m ³	1.1
残土			5.3-(4.0÷0.9)	m ³																		個	4

取 付 管 工 集 計 表

(20) 工区 (補) 単

名 称	形状・寸法	数量内訳書					合計	単位	設計数量
		No. 1	No. 2						
取 付 管 工	取付管箇所	4					4	箇所	
	取付管延長	10.20					10.20	m	
	平均取付管延長						2.55	m	
	プレーンエンド直管 φ150×4.00m	8.28					8.28	m	
							3	本	
	90° 可とう支管 φ150	4					4	個	
	60° 曲管 φ150 mm	4					4	個	
	30° 曲管 φ150 mm							個	
	SRB片受直管 φ150×0.80m	4					4	個	
	塩ビ製人孔用支管 φ150×300mm							個	
	可とうマンホール継手 φ150							個	
	自在管φ150	4					4	個	
	本管接続	4					4	箇所	
	マンホール接続							箇所	
	塩ビ製マンホール接続							箇所	
土 工	人力掘削							m ³	
	機械掘削 BH 0.28 m ³	7.2					7.2	m ³	
	発生土埋戻し 人力							m ³	
	" BH 0.28 m ³	6					6	m ³	
	砂埋戻し・砂基礎 人力							m ³	
	" BH 0.28 m ³	1					1	m ³	
	残土処分 BH 0.28 m ³ 4t車	0.5					0.5	m ³	
ま ず 設 置 工	塩ビ製柵 φ 200 mm 1.5 m以下	4					4	箇所	
	鋳鉄製防護蓋 φ 200 mm用	4					4	箇所	
	塩ビ製密閉蓋 φ 200 mm用							箇所	

取 付 管 工 (No. 1)

(20) 工区 (補) 単

(現況舗装構成)

舗装表層 = 0.05 m
 上層路盤 = 0.10 m
 下層路盤 = m

道路幅員 = ~ m
 本管掘削幅 = m
 取付管掘削 = 0.55 m

(復旧舗装構成)

舗装表層厚 = 0.05 m
 上層路盤厚 = 0.10 m
 下層路盤厚 = 0.10 m

φ 150 mm

路 線 名	数 量	取付管延長		本 管 土 被	a 掘 削 深	b 掘 削 幅	c 掘 削 延 長	a×b×c 掘削土量 m ³	本 管 接 統	人 孔 接 統	塩 ビ 人 孔 接 統	塩 ビ 人 孔 用 支 管	可 とう 支 管	曲 管	P E 直 管	S R B	構 設 置 工	鋳 鉄 製 防 護 蓋	塩 ビ 製 密 閉 蓋	
		箇所×延長	小計																	箇所
2663	右	3	3×1.80	5.40	1.33 1.28	0.68	5.40- (0.48×3)=	3.96	3.4	3			3	3	3.96	3	3	3		
	左	1	1×4.80	4.80	1.33 1.28	0.68	4.80- (0.48×1)=	4.32	3.8	1			1	1	4.32	1	1	1		
	右																			
	左																			
	右																			
	左																			
	右																			
	左																			
	右																			
	左																			
	右																			
	左																			
	右																			
	左																			
	右																			
	左																			
	右																			
	左																			
計		4		10.20				8.28	7.2	箇所 4	箇所 4	箇所 4	ケ 4	ケ 4	ケ 4	m 8.28	ケ 4	箇所 4	箇所 4	
配管延長							m 10.20													m 8.28
掘削		人力					m ³	発生上埋戻												m ³ 6.0
掘削		BH0.28m ³					m ³ 7.2	砂・砂基礎埋戻												m ³ 1
残 土		7.2-(6.0÷0.9)					m ³ 0.5	自在管 φ150												個 4

塩ビ管管布設付帯工(No.1)

(20)工区 (補)単

現況表層厚 = 0.05 m 道路幅員 = m 復旧表層厚 = 0.05 m
 現況路盤厚 = 0.10 m 掘削幅 = m 復旧路盤厚 = 0.20 m

路線名	人孔番号	人孔間延長 (m)	平均掘削深 (m)	舗装切断工 (アスファルト)		路盤工		表層工	
				t= 5 cm	m	t= 10+12 cm A=掘削幅×延長	m ²	t= 5 cm A=復旧幅×延長	m ²
2663	2663-2 2663-1	4.00	1.26	4.00×2=	8.00	0.85×4.00=	3.4	2.90×4.00=	11.6
	2663-1 2663-2	5.00	1.27	5.00×2=	10.00	0.85×5.00=	4.25	2.90×5.00=	14.5
	2663-2 2663-3	4.00	1.31	4.00×2=	8.00	0.86×4.00=	3.44	2.90×4.00=	11.6
	計	13.00			26.00		11.09		37.7

アスファルト切断工	26.00 m
舗装撤去工	37.7 m ²
舗装殻処分工 t= 5 cm= 37.7 × 0.05 =	1.9 m ³
仮舗装工	11.09 m ²
仮舗装撤去	11.09 m ²
仮舗装殻処分工 t= 3 cm= 11.09 × 0.03 =	0.3 m ³
舗装復旧工	37.7 m ²
上層路盤工 t= 12 cm 粒調碎石	11.1 m ²
下層路盤工 t= 10 cm 再生切込碎石	11.1 m ²
不陸整正	37.7 - 11.09 = 26.6 m ²

塩ビ管管布設付帯工(No.2)

(20) 工区 (補) 単

現況表層厚 = $\frac{0.05}{0.10}$ m 道路幅員 = $\frac{\quad}{0.95}$ m 復旧表層厚 = $\frac{0.05}{0.20}$ m
 現況路盤厚 = $\frac{0.05}{0.10}$ m 掘削幅 = $\frac{\quad}{0.95}$ m 復旧路盤厚 = $\frac{0.05}{0.20}$ m

路線名	人孔番号	人孔間延長 (m)	平均掘削深 (m)	舗装切斷工 (アスファルト)		路盤工		表層工	
				t= 5 cm	m	t= 10+12 cm A=掘削幅×延長	m ²	t= 5 cm A=復旧幅×延長	m ²
2663	2663-3 2663-4	4.00	1.62	4.00×2=	8.00	0.95×4.00=	3.8	2.90×4.00=	11.6
	2663-4 2663-5	4.00	2.07	4.00×2=	8.00	0.95×4.00=	3.8	2.90×4.00=	11.6
	2663-5 2663-6	23.50	2.35	23.50×2=	47.00	0.95×23.50=	22.33	2.90×23.50=	68.2
	2663-6 2663-7	11.00	2.42	11.00×2=	22.00	0.95×11.00=	10.45	2.90×11.00=	31.9
	2663-7 2663-8	9.00	2.31	9.00×2=	18.00	0.95×9.00=	8.55	2.90×9.00=	26.1
	2663-8 2663-9	11.00	2.20	11.00×2=	22.00	0.95×11.00=	10.45	2.90×11.00=	31.9
	計	62.50			125.00		59.38		181.3
アスファルト切斷工									125.00 m
舗装撤去工									181.3 m ²
舗装殻処分工 t= 5 cm=									181.25 × 0.05 = 9.1 m ³
仮舗装工									59.38 m ²
仮舗装撤去									59.38 m ²
仮舗装殻処分工 t= 3 cm=									59.38 × 0.03 = 1.8 m ³
舗装復旧工									181.3 m ²
上層路盤工 t= 12 cm 粒調碎石									59.4 m ²
下層路盤工 t= 10 cm 再生切込碎石									59.4 m ²
不陸整正									181.3 - 59.38 = 121.9 m ²

取付管布設付帯工集計表【補助区間集計表】

(3-6)工区 (補)・単

名称	形状・寸法	数量内訳書				合計	単位	設計数量
		2663	2660	2659				
付帯工	舗装切断工(As) t≤20cm	10.05	8.60			18.65	m	
	舗装切断工(Co) t≤20cm					0.00	m	
	舗装版破碎工(As) t=10cm以下(現況)	3.73	3.48			7.21	m ²	
	〃 t=10cm以下(仮舗)	3.73	3.48			7.21	m ²	
	舗装版破碎工(Co) t=7cm以下(現況)					0.00	m ²	
	殻運搬処理(As) (現況)	0.10	0.10			0.20	m ³	
	〃 (仮舗)	0.10	0.10			0.20	m ³	
	殻運搬処理(Co) (現況)					0.00	m ³	
	表層工(本舗装) 再生密粒度アスコン t= 5 cm						m ²	
	表層工(仮舗装) 再生粗粒度アスコン t= 3 cm	3.73	3.48			7.21	m ²	
	表層工(本舗装) セメントコンクリート t= 7 cm						m ²	
	下層路盤工(車道) 再生切込碎石 t= 10 cm	3.73	3.48			7.21	m ²	
	上層路盤工(車道) 粒調碎石 t= 12 cm	3.73	3.48			7.21	m ²	
	路盤工(車道) 再生切込碎石 t= 14 cm						m ²	

取付管布設付帯工集計表

(19)工区 (補)・単

名称	形状・寸法	数量内訳書				合計	単位	設計数量
		As	Co					
付帯工	舗装切断工(As) t≤20cm	10.05				10.05	m	
	舗装切断工(Co) t≤20cm					0.00	m	
	舗装版破碎工(As) t=10cm以下(現況)	3.73				3.73	m ²	
	” t=10cm以下(仮舗)	3.73				3.73	m ²	
	舗装版破碎工(Co) t=7cm以下(現況)					0.00	m ²	
	殻運搬処理(As) (現況)	0.1				0.10	m ³	
	” (仮舗)	0.1				0.10	m ³	
	殻運搬処理(Co) (現況)					0.00	m ³	
	表層工(本舗装) 再生密粒度アスコン t= 5 cm						m ²	
	表層工(仮舗装) 再生粗粒度アスコン t= 3 cm	3.73				3.73	m ²	
	表層工(本舗装) セメントコンクリート t= 7 cm						m ²	
	下層路盤工(車道) 再生切込碎石 t= 10 cm	3.73				3.73	m ²	
	上層路盤工(車道) 粒調碎石 t= 12 cm	3.73				3.73	m ²	
	路盤工(車道) 再生切込碎石 t= 14 cm						m ²	

取付管布設付帯工

(19)工区(補)単

現況表層厚 = 0.05 m 道路幅員 = m 復旧表層厚 = 0.05 m
 現況路盤厚 = 0.10 m 掘削幅 = m 復旧路盤厚 = 0.20 m

路線名	人孔番号	舗装延長 (m)	本管掘削幅 (m)	掘削深 (m)	取付箇所	舗装切断工 (アスファルト)		路盤工		表層工	
						t= 5 cm	m	t= 20 cm A=掘削幅×延長	m ²	t= 5 cm A=復旧幅×延長	m ²
2663-2		1.70	0.60	0.86	3	(1.70-1.30)×3×2=	2.40	0.72×3×(1.70-1.30)=	0.86		
		5.30	0.95	0.99	1	(5.30-1.48)×1×2=	7.65	0.75×1×(5.30-1.48)=	2.87		
	計						10.05		3.73		
(アスファルト)											
アスファルト切断						15 cm				10.05 m	
上層路盤工						12 cm		粒調碎石		3.7 m ²	
下層路盤工						10 cm		再生切込碎石		3.7 m ²	
仮舗装工						3 cm				3.7 m ²	
仮舗装撤去										3.7 m ²	
仮舗装殻処分工						t= 3 cm=	3.73	×	0.03 =	0.1 m ³	

取付管布設付帯工集計表

(20)工区 (補)・単

名称	形状・寸法	数量内訳書				合計	単位	設計数量
		As	Co					
付帯工	舗装切断工(As) t≤20cm	8.60				8.60	m	
	舗装切断工(Co) t≤20cm					0.00	m	
	舗装版破碎工(As) t=10cm以下(現況)	3.48				3.48	m ²	
	” t=10cm以下(仮舗)	3.48				3.48	m ²	
	舗装版破碎工(Co) t=7cm以下(現況)					0.00	m ²	
	殻運搬処理(As) (現況)	0.1				0.10	m ³	
	” (仮舗)	0.1				0.10	m ³	
	殻運搬処理(Co) (現況)					0.00	m ³	
	表層工(本舗装) 再生密粒度アスコン t= 5 cm						m ²	
	表層工(仮舗装) 再生粗粒度アスコン t= 3 cm	3.48				3.48	m ²	
	表層工(本舗装) セメントコンクリート t= 7 cm						m ²	
	下層路盤工(車道) 再生切込砕石 t= 10 cm	3.48				3.48	m ²	
	上層路盤工(車道) 粒調砕石 t= 12 cm	3.48				3.48	m ²	
	路盤工(車道) 再生切込砕石 t= 14 cm					0.00	m ²	

取付管布設付帯工(No.1)

(20)工区 (補) 単

現況表層厚 = 0.05 m 道路幅員 = m 復旧表層厚 = 0.05 m
 現況路盤厚 = 0.10 m 掘削幅 = m 復旧路盤厚 = 0.20 m

路線名	人孔番号	舗装延長 (m)	本管掘削幅 (m)	掘削深 (m)	取付箇所	舗装切断工 (アスファルト)		路盤工		表層工	
						t= 5 cm	m	t= 20 cm A=掘削幅×延長	m ²	t= 5 cm A=復旧幅×延長	m ²
2663		1.80	0.95	1.28	3	(1.80-1.48)×3×2=	1.95	0.81×3×(1.80-1.48)=	0.79		
		4.80	0.95	1.28	1	(4.80-1.48)×1×2=	6.65	0.81×1×(4.80-1.48)=	2.69		
	計						8.60		3.48		

(アスファルト)											
アスファルト切断						15 cm	8.60 m				
上層路盤工						12 cm	粒調碎石		3.5 m ²		
下層路盤工						10 cm	再生切込碎石		3.5 m ²		
仮舗装工						3 cm	3.5 m ²				
仮舗装撤去							3.5 m ²				
仮舗装処分						工 t= 3 cm=	3.48	×	0.03 =	0.1 m ³	

1. 数量計算書

中之町(三原東処理分区)

单独工区

塩ビ管管布設工集計表【単独区間集計表】

(3-6)工区 (補) 単

名 称	形状・寸法	数量内訳書				合計	単位	設計数量
		2663-1	2662	2660				
管路土工	管路掘削 人力						m ³	
	管路埋戻(発生土) 人力						m ³	
	管路埋戻(砂) 人力						m ³	
	発生土処理 人力 2 t車						m ³	
	管路掘削 BH 0.13 m ³						m ³	
	管路埋戻(発生土) BH 0.13 m ³						m ³	
	管路埋戻(砂) BH 0.13 m ³						m ³	
	発生土処理 BH 0.13 m ³ 2 t車						m ³	
	管路掘削 BH 0.28 m ³	9.6				9.6	m ³	
	管路埋戻(発生土) BH 0.28 m ³	6.1				6.1	m ³	
	管路埋戻(砂) BH 0.28 m ³	1.4				1.4	m ³	
	発生土処理 BH 0.28 m ³ 4 t車	2.8				2.8	m ³	
	管路掘削 BH 0.45 m ³						m ³	
	管路埋戻(発生土) BH 0.45 m ³						m ³	
	管路埋戻(砂) BH 0.45 m ³						m ³	
発生土処理 BH 0.45 m ³ 10 t車						m ³		
管基礎工	砂基礎	0.5				0.5	m ³	
	砂基礎延長	5.20				5.20	m	
管布設工	路線延長	6.00				6.00	m	
	管体延長	5.17				5.17	m	
	ゴム輪受け口片受直管 φ 200 mm×4.00m	1				1	本	
	プレーンエンド直管 φ 200 mm×4.00m	1				1	本	
	可とう継手 φ 200 mm	2				2	個	
	自在継手 φ 200 mm						個	
	副管用マンホール継手 φ 200 mm×1.00m						個	
	上流用マンホール継手 φ 200 mm×0.50m						個	
	内副管用T字継手 φ 200 mm×1.00m						個	

塩ビ管管布設工(No.2)

矢板施工

(19)工区 (補)単

管径 φ =	200	mm
現況表層厚 =	0.05	m
現況路盤厚 =	0.10	m (上下路盤)
道路幅員 =		m
掘削幅 =	0.95	m
復旧表層厚 =	0.05	m
復旧路盤厚 =	0.20	m

路線名	人孔番号	人孔間延長	人孔減長	掘削深	※掘削工の選定は、市指針参照。			管延長	ゴム輪受け直管 (SRA)	ブレンエンド直管 (PE)	マンホール	可とう継手	自在継手	備考 (平均掘削幅)
					掘削土量									
					人力	BH 0.13m ³	BH 0.28m ³							
m	m	m	m ³	m ³	m ³	m ³	m	m	m	個	個			
2663-1	2663-2-10 2663-1-1	6.00	0.38 0.45	1.68 1.73			9.6	5.17	4.0	1.17		2		0.95
計		6.00					9.6	5.17	4.0	1.17		2		

本管	ブレンエンド直管	1.17	÷	4.00	m/本=	1	本
	ゴム輪受け口片受直管	4.0	÷	4.00	m/本=	1	本

土	掘削	人力掘削工	人力	m ³	合計	発生土埋戻	砂埋戻	残土	
		バックホウ	0.13 m ³	m ³					m ³
工	埋戻	発生土	V= 9.6 - (0.416 × 0.95 + 0.20 × 0.95) × 6.00 = 6.1 m ³			平均掘削深 1.68	砂埋戻基礎工	上幅	0.95
		砂埋戻	V= { (0.316 × 0.95) × 5.17 } × 0.216 ² = 1.4 m ³					下幅	0.95
		砂基礎工	V= 0.95 × 0.10 × 5.17 = 0.5 m ³				管廻り埋戻高 = 0.316 管外径 = 0.216 砂埋戻高 = 0.416 砂基礎高 = 0.10		
		残土	V= 9.6 - (6.1 ÷ 0.9) = 2.8 m ³						

塩ビ管管布設土留工(No.2)

路線名	人孔番号	人孔間延長 m	掘削深	素掘	建込簡易土留工				軽量鋼矢板建込工			
					m	m	m	m	m	m	m	m
					L-2.00	L-2.50	L-3.00	L-3.50	L-2.00	L-2.50	L-2.50	L-3.00
									1段	1段	2段	2段
					m	m	m	m	m	m	m	m
											
											
											
											
2663-1	2663-2-10 2663-1-1	6.00	1.73					6.00				
											
											
											
											
											
											
											
											
											
											
											
											
											
											
											
											
											
計							6.00				
建込簡易土留工					H=2.0m2							
建込簡易土留工					H=2.5m2							
建込簡易土留工					H=3.0m2							
建込簡易土留工					H=3.5m2							
軽量鋼矢板建込工					H=2.0m2				6.00			
軽量鋼矢板建込工					H=2.5m2							
軽量鋼矢板建込工					H=2.5m2							
軽量鋼矢板建込工					H=3.0m2							

1号組立人孔設置工数量総括表 【単独区間集計表】

		形状寸法	2663-1	2662			数量	単位	摘要	
躯体材料	人孔鉄蓋	T-14 (転落防止)	1				1	組		
	人孔鉄蓋	T-14 (一般)						組		
	マンホール蓋固定工	調整高	0.02				0.02	m		
	調整リング	600×200								
	調整リング	600×150	1				1	個		
	調整リング	600×100						個		
	調整リング	600×50						個		
	斜壁	600/900 ×600						個		
	斜壁	600/900 ×450	1				1	個		
	斜壁	600/900 ×300						個		
	直壁	900×1500						個		
	直壁	900×1200						個		
	直壁	900×900						個		
	直壁	900×600						個		
	直壁	900×300						個		
	く体ブロック	900×1800						個		
	く体ブロック	900×1500	1				1	個		
	く体ブロック	900×1200						個		
	く体ブロック	900×900						個		
	く体ブロック	900×600						個		
	底版		1				1	個		
	施工	ブロック据付工	2.0m以下						箇所	
		ブロック据付工	3.0m以下	1				1	箇所	
		ブロック据付工	4.0m以下						箇所	
削孔工		φ200	1				1	箇所		
削孔工		φ150						箇所		
底部工			1				1	箇所		
底部工(インバートなし)								箇所		
インバート工								箇所		
副管工		1m未満							箇所	
		1.0m~1.5m							箇所	
	1.5m~2.0m							箇所		
コンクリート防食塗	セラミックC種						m2			
半割管							箇所			

塩ビ管管布設付帯工(No.2)

(19)工区 (補)単

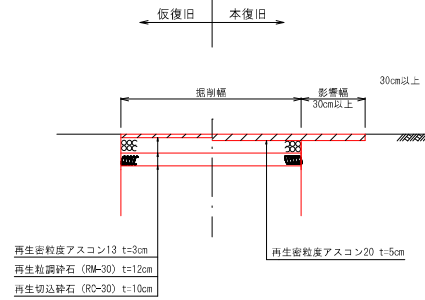
現況表層厚 = 0.05m 道路幅員 = m 復旧表層厚 = 0.05m
 現況路盤厚 = 0.10m 掘削幅 = 0.95m 復旧路盤厚 = 0.20m

路線名	人孔番号	人孔間延長 (m)	平均掘削深 (m)	舗装切断工 (アスファルト)		路盤工		表層工	
				t= 5 cm	m	t= 10+12 cm A=掘削幅×延長	m ²	t= 5 cm A=復旧幅×延長	m ²
2663-1	2663-2-10 2663-1-1	6.00	1.68	6.00×2=	12.00	0.95×6.00=	5.7	2.50×6.00=	15.0
計		6.00			12.00		5.7		15.0

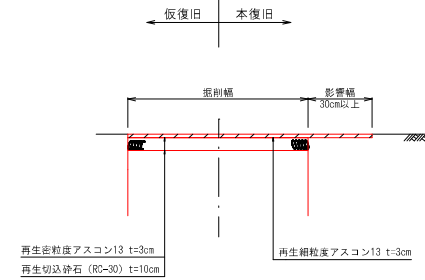
アスファルト切断工	12.00 m
舗装撤去工	15.0 m ²
舗装殻処分工 t= 5 cm=	15 × 0.05 = 0.8 m ³
仮舗装工	5.7 m ²
仮舗装撤去	5.7 m ²
仮舗装殻処分工 t= 3 cm=	5.7 × 0.03 = 0.2 m ³
舗装復旧工	15.0 m ²
上層路盤工 t= 12 cm 粒調碎石	5.7 m ²
下層路盤工 t= 10 cm 再生切込碎石	5.7 m ²
不陸整正	15.0 - 5.7 = 9.3 m ²

舗装復旧標準図 S=1/20

市道（一般道）As車道
(As5-10-10)



市道 歩道
(As3-10)



令和3年度 公共下水道事業（污水）			
工事名	三原東処理分区分水管理施設工事（3-5工区）		
工事場所	三原市中之町二丁目		
図面番号	縮尺	図示	
付帯工構造図			
三原市			

位置図



工事箇所

市立第二中学校

県立三原東高校

中之町
第一公園

市営清水住宅

和久阪川

県営住宅

中之町
コミュニティセンター
市営清水住宅

市立中之町
西保育所

滝宮神社

